

令和3年度 自己評価書

学校名	和歌山市立加太小学校
校長氏名	岩本浩志
作成日	令和4年 2月 14日

1 教育目標

最後までよく考え、心と体の健康を養い、みんなと共によりよく生きる子供の育成

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	・全国学力・学習状況調査、県学習到達度調査で、正答率の県平均をめぐす ・児童がわかる授業、児童主体の授業を実践する(教師90%以上)	・学校が「楽しい」と感じる(児童90%以上) ・「特別の教科 道徳」の授業が「楽しい」と感じる(児童80%以上) ・いじめの解消100%をめざす	・毎日、朝ごはんを食べてくる(児童95%以上) ・体力テストの平均値を男女とも、県平均をめぐす	・学校の様子がよくわかった(保護者90%以上) ・地域への情報発信が十分行えた(保護者90%以上・他自治会等の声)
重点目標【P】	◎基礎・基本の確かな学力の定着 ◎児童が主体的に学ぶ授業づくり ○家庭学習の定着 ○読書活動の推進	◎地域の豊かな自然環境を愛し、保全する精神の育成 ◎道徳教育を柱とした教育活動の充実 ◎自他ともに大切に作る教育活動の実践 ○仲間づくり活動の実施	◎基本的生活習慣の確立 ○体力向上の推進 ○危機回避能力の育成 ○人間の体を知る	◎地域の教育資源や人材を活用しながら交流活動を継続 ◎幼・小・中の接続の推進 ○ホームページの充実とともに、新設した掲示板によりさらに情報発信
取組の状況【D】	・めあての提示、書く活動を取り入れた授業を行った。 ・放課後フォローアップ、読書タイムについて、1年間継続的に取り組んだ。 ・授業力向上を図るため、授業の研究を行った。 ・地域素材を生かした教育活動を充実させ、児童の自主性を育成した。	・地域の行事に積極的に関わり、帰属意識の育成に努めた。 ・「特別の教科道徳」の授業と、全ての教育活動と関連付けながら、効果的な授業をめざした。 ・縦割り活動を大切に、年間を通した活動を行った。 ・「あいさつ」「時間」「掃除」を大切に指し導を行った。 ・川上小学校と、リモートでの交流を行った。	・学年だより等を通じて、保護者に「早寝・早起き・朝ご飯」の啓発を行った。 ・避難訓練を実施し、休憩時間やその他様々な状況を考えて行動できるよう学級指導を行った。 ・全学年でのなわとび集会や県の実施するチャレンジランキングとをリンクさせて意欲を持たせ体力作りを実施した。	・図書館司書・図書ボランティアによる、図書室の環境整備を行った。 ・学校便り・ホームページを活用し、子どもや学校の様子を伝えるよう心がけた。 ・地域の団体・企業等と連携し、協力して行えるよう働きかけ、学校教育全体に生かしていけるようにした。 ・「家庭学習の手引き」を配布し、保護者に協力を呼びかけた。
取組の成果と課題【評価】	・全国学力・学習状況調査、県学習到達度調査において、4～6年生の結果が平均を上回ることができなかった。 ・昨年度と比較し、無回答率は少しではあるが改善されている。 ・授業がよく分かると答えた児童が55%、肯定的な回答を含めると92%と、目標の90%を上回ることができた。	・学校で「友だちと仲よく過ごしている」と感じる児童が71%、肯定的な意見を含めると90%と、楽しく学校生活を送れていると読み取ることができた。 ・人権参観や教育講演会を行うことで、保護者への人権啓発になっている。 ・道徳の授業では、少人数であることを生かし、それぞれが意見を出し深め合う授業が多く見られるようになっている。	・毎日朝食を食べてきている児童が95%で、目標の95%となったが、生活習慣として大事などころなのでさらなる向上を図りたい。 ・「加太っ子スポーツ祭」を児童主体で取り組み、幼稚園との交流を含め教育的価値の高いものになったと思っている。今後さらに質の向上を図ってきたい。 ・体力テストは、項目によって差はあるものの概ね平均値であった。	・保護者へのアンケートで、「教育活動や子どもの様子を分かりやすく知らせている」について80%の肯定的な回答が得られたが、目標の90%を上回ることができなかった。 ・コロナ禍ではあるが、図書ボランティアの方々が学校に来てくれる機会が多くなったことは大変ありがたい。
改善方法【A】	・基礎・基本の定着に向けて、日々の授業のレベルアップを図るため授業研究を充実させ、同時に授業規律といった授業の「構え」を大切に学級経営を行えるよう学校全体で取り組みを進める。 ・朝の読書タイムを継続し、図書ボランティアの協力も得ながら文章に親しむ児童を増やせるよう活動の充実を図る。 ・個人思考を大切にしながら、学び合いができる環境の中で学習が進められるようにしていくことで、落ち着いた学習環境と学力の向上を目指していく。	・楽しく有意義な学校生活を送れるよう、児童が主体となった行事はもちろん、日々の授業の中でも達成感が得られるような活動を行ってきたい。 ・児童と加太幼稚園児との交流を行い、小1プロブレムの解消や、コミュニケーション力の向上に繋がるような活動を行ってきたい。 ・縦割り活動を生かし、責任感や仲間意識を育てながら楽しい学校を創造していきたい。	・スポーツ祭を中心とし、児童に運動する大切さや楽しさを感じてもらえるよう取組を充実させていきたい。 ・生活のリズムの大切さについて、引き続き保護者に働きかけていく。 ・情報モラルについてルールを決めることの大切さを指導し、正しい知識と理解の定着に向け年間を通して計画的に出前授業などを取り入れていく。 ・朝ごはん、時間通り登校する、あいさつについて、児童だけではなく保護者への啓発を行いたい。	・地域の文化遺産である獅子舞の継承をはじめ、地域素材を活用した学習を本校の特色として行っていきたい。 ・「ボランティア登録カード」等活用し、地域や保護者の方々にも協力してもらえよう、根気強く啓発を行っていく。 ・学校だより、ホームページ、掲示板を活用して、学校の教育活動や様子について発信していくようにする。

3 その他の課題

・全体的には、児童は落ち着いて学校生活を送ることができている。しかし、不登校や保健室等への登校で、落ち着いて学習に取り組めない児童への対応が課題になっている。児童一人一人に応じた教育活動の充実を、教員一丸となって取り組んでいきたい。
・学校と家庭、地域、関係機関と連携しながら、取り組みを進めていく。
・外国語教育やプログラミング教育について、スムーズに教育活動を進めていけるよう、現職教育で研修を深める。
・小規模特認校としての基盤である学習環境の整備や教育課程、市内への周知や募集要項の見直しなどは重要課題である。今後も教育委員会の協力を得ながら共に連携しながら進めていく。